

平成 27 年度 第 6 回 倫理審査委員会審議

申請者	副看護部長	辻丸 祐規子
受付番号	15-42	
課題名	在宅の視点のある病棟看護に関する実態調査およびベンチマーク	
研究の概要	在宅の視点のある病棟看護に関する実態調査を行い、その結果をベンチマークすることにより、院内および地域の看護教育の充実やシステム改善に資することを目的とする。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	糖尿病コーディネーター	森山 照代
受付番号	15-43	
課題名	佐賀県糖尿病コーディネート看護師育成・支援事業に関する、看護師及び患者アンケート	
研究の概要	佐賀県の糖尿病合併症予防対策の一環として、佐賀県糖尿病コーディネート看護師育成・支援事業が始動して4年が過ぎ、この事業により、糖尿病の医療水準の向上及び糖尿病患者の療養状況の改善が期待される。そこで、この取り組みによる変化について、看護師及び患者へ調査を行う。その活動成果を把握し、佐賀県糖尿病コーディネート看護師を活用した糖尿病医療連携システムの効果を明らかにする。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	脳神経外科部長	宮園 正之
受付番号	15-44	
課題名	脳卒中急性期医療の地域格差の可視化と縮小に関する研究	
研究の概要	本邦の脳卒中診療の中核施設における包括的脳卒中センターとしての施設要件および診療の質的評価と治療成績、予後との関連を調査し、地域格差を考慮した適正な配置について提言を行う。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	消化器内科医長	森崎 智仁
受付番号	15-45	
課題名	潰瘍性大腸炎における唾液中サイトメガロウイルス測定の有用性に関する研究	
研究の概要	<p>従来、サイトメガロウイルス（以下、CMV）の再活性化はステロイドなどの免疫抑制剤治療の結果として生じると考えられているが、炎症性サイトカインが再活性化の原因である可能性が考えられる。そこで本試験では、ステロイド非投与例におけるCMVの再活性化を、唾液中CMVを測定することで評価する。</p> <p>また、ステロイドとは異なり強力な免疫抑制作用のないGCAP治療の唾液中CMVに対する影響を確認する。</p> <p>現在、唾液中CMVが陽性となる閾値は定まっていない。本研究の検体を用いて閾値の探索を行う。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

	副看護部長	辻丸 祐規子
受付番号	15-46	
課題名	発達障害の人が看護職に就くことに対する臨床看護師の意識について	
研究の概要	発達障害の人が看護職に就くことについて、看護学実習で学生の教育に携わり、卒業後の主たる就職先となる臨床の看護職の代表として看護部長の意見を聞き、看護教員として実施しなければならない発達障害の学生に対する支援策を明らかにする。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	消化器内科医師	富永 直之
受付番号	15-47	
課題名	佐賀県における腹腔鏡内視鏡合同手術（LECS）の検討 ～インドシアニングリーンの有用性～	
研究の概要	腹腔鏡と内視鏡を併用した治療が2014年より保険適応されたが、まだまだ検討の余地が多い分野である。佐賀県西部地区で行われている腹腔鏡内視鏡合同手術症例を検討して、より有用で安全な方法を検討する。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	消化器内科医師	富永 直之
受付番号	15-48	
課題名	佐賀県市中拠点病院における抗血栓薬内服中の出血性胃十二指腸潰瘍の検討	
研究の概要	出血性胃十二指腸潰瘍は H.pylori 感染率低下や、抗血栓薬・NSAIDs 服用者の増加、抗血栓薬の2剤併用療法やNOACの登場、内視鏡技術や道具の進歩などにより、以前と成因や治療法など状況が異なっているため、改めて検討を行うことが疾病治療の向上に寄与すると考える。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	救命救急センター長	藤原 紳祐
受付番号	15-49	
課題名	電子カルテ上での早期警戒（NEWS）スコアの活用による医療安全への有効性の検討	
研究の概要	<p>当院では2011年より Rapid Response System（院内救急対応システム、以下RRS）を導入し約5年が経過した。導入後、ICU外心停止の有意な減少が認められ、更に先日受審した病院機能評価では高評価を得るなど、ある一定の実績を積みつつある。</p> <p>一方、当院でも電子カルテが導入され長年経過しているが、医療安全分野での電子カルテの活用は必ずしも十分発揮されているとは言えない。今回、電子カルテのベンダーの変更に伴い、英国で既に十分実績を積んでいる早期警戒（NEWS）スコアが一機能として実装されている。我々が実践しているRRSを更に高いレベルで実現するために、この機能を活用し、NEWSスコアの運用における課題を明確にすることによって、患者の救命率向上に寄与するための方策を探求する。</p>	
判定	承認	計画どおり承認とする。

申請者	副看護部長	辻丸 祐規子
受付番号	15-50	
課題名	佐賀県における肝炎コーディネーター・糖尿病療養指導士の肝疾患および糖尿病診療への関与の程度と各職種間の連携の現状を明らかにするためのアンケート調査	
研究の概要	佐賀県における肝炎コーディネーター・糖尿病療養指導士の肝疾患および糖尿病診療への関与の程度と各職種間の連携の現状を明らかにし、効果的なコミュニケーションの連携方法について検討する。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	副看護部長	辻丸 祐規子
受付番号	15-51	
課題名	肝炎ウイルス持続感染者（キャリア）の受診・受療の促進活動に関する現状調査	
研究の概要	全国自治体の肝炎コーディネーターの現状や課題、また優れた肝炎コーディネーターの実例を収集、分析し、より効果的な実施に資する情報を抽出した上で、実務担当者に提供することを目的とする。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	副看護部長	辻丸 祐規子
受付番号	15-52	
課題名	患者による暴言・暴力に関する調査への協力	
研究の概要	患者による暴言・暴力について、未然の防止策や発生後の対応策について検討するために、刑法上の犯罪の構成要件との関係から、暴言・暴力の実態調査を行う。	
判定	迅速審査承認	計画どおり承認とする。

申請者	診療放射線技師	村岡 亜友美
受付番号	15-15	
課題名	デジタルマンモグラフィのトモシンセシス撮影における苦痛についてのアンケート調査	
研究の概要	<p>当院では平成26年2月より、トモシンセシスという撮影技術を搭載した最新のマンモグラフィ装置が稼働している。トモシンセシスとは、圧迫された乳房を多方向から撮影して画像収集する三次元撮影技術である。従来のマンモグラフィでは、三次元の解剖学的情報が二次元の画像に投影されてしまうという問題があったが、トモシンセシスは三次元的な情報を得ることが出来るため、診断精度を向上させる画期的な技術として、近年急速に注目を集めている。しかし、このトモシンセシスの撮影は乳房を圧迫する時間が長いため、患者の苦痛が大きくなることが懸念される。そこで、「患者が撮影時にどのように感じているか」、痛みの度合いなどについてアンケートを用いて調査を行う。また、当院放射線科にはマンモグラフィ検査に関する説明資料がないため、アンケートを参考にパンフレットを作成する。</p>	
判定	迅速審査承認	H27.9.24 付承認課題。異動による研究責任者の変更のため再審議の結果承認となった。